

福利厚生 働きやすさを制度でかたちに



寮・住宅支援

病院のすぐ近くに寮を完備し、寮費は月6,000円～9,000円。賃貸の場合も上限28,000円の住宅手当で生活をサポート。



保育・子育て支援

院内保育所があり、入所待ちの心配なく安心して復帰できる環境。育児短時間制度など柔軟な働き方を選択可能。



処遇改善・保養制度

処遇改善手当に対応し、経済面でも安心。健康保険組合の保養所を年2泊まで一人一泊3,000円で利用できる特典も。



育児・介護支援

育児休暇は女性だけでなく男性の取得実績もあり。介護支援制度も充実しており、ライフステージに応じた支援体制。

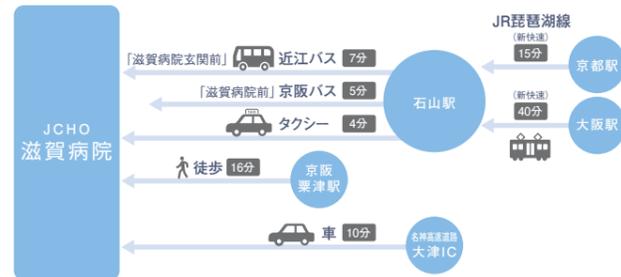
新しいユニフォーム



2026年、新ユニフォームで“働きやすさ”が進化。動きやすさと着心地を追求したデザインで、印象もスタイルも心地よく。色は好みのものが選べます。



ACCESS 交通のご案内

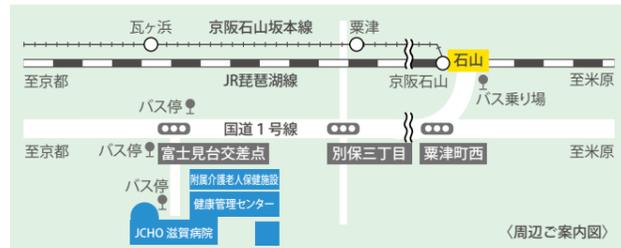


〈電車をご利用の場合〉※JRは新快速利用
 ● JR東海道本線「京都」駅からJR琵琶湖線「石山」駅(約15分)下車、徒歩約20分
 ● JR東海道本線「大阪」駅からJR琵琶湖線「石山」駅(約40分)下車、徒歩約20分

〈バスをご利用の場合〉
 ● JR琵琶湖線「石山」駅下車、近江バス(7分)「滋賀病院玄関前」下車
 ● JR琵琶湖線「石山」駅下車、京阪バス(5分)「滋賀病院前」下車

〈お車をご利用の場合〉
 ● 名神高速道路「大津IC」より車で約10分

滋賀病院公式マスコットキャラクター
びわあゆみん (愛称:あゆみん) 誕生日:11/14 座右の銘:「先手必勝」
 モットー:「迅速対応」
 あゆみんは急流を遡上して行くことから**元気、若さ、勢い**を表す滋賀を代表する魚です。
 看護職員が「**活き活きと看護に携わる**」そんなマスコットキャラクターとして生まれました。



看護をつなぐ
 地域をつなぐ
 人をつなぐ

JCHO SHIGA HOSPITAL

滋賀病院

看護職員募集案内



未来をつなぐ、 信頼の医療体制



理念

私たちは信頼される質の高い
医療・介護・予防の実践を通して
社会に貢献します

診療科目一覧

内科・呼吸器内科・循環器内科・消化器内科・血液内科・腎臓内科・
糖尿病内科・脳神経内科・外科・呼吸器外科・心血管外科・乳腺外科・
形成外科・脳神経外科・整形外科・精神科・小児科・皮膚科・泌尿器科・
産婦人科・眼科・耳鼻咽喉科・頭頸部外科・麻酔科・リハビリテーション科・
放射線科・救急科・歯科・歯科口腔外科

基本方針

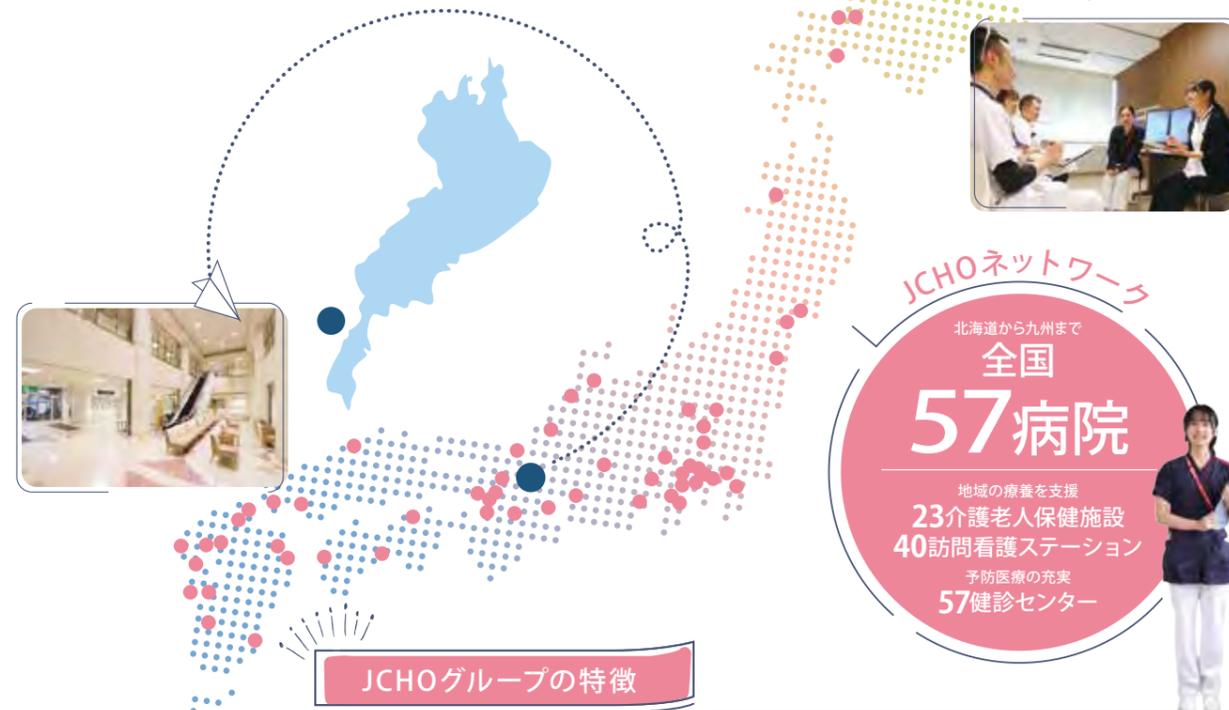
- 十分な説明と同意に基づく医療を提供します
- 万全な安全対策を講じた医療を提供します
- 技能向上のために自己研鑽に努めます
- 地域との連携を推進します
- 健診事業を通じて健康保持・増進を推進します
- 心のこもった介護を提供します

病院概要

- 所在地：滋賀県大津市富士見台16-1
- 病床数：310床
- 診療科：28診療科
- 附属施設：腎センター／健康管理センター
訪問看護ステーション／介護老人保健施設
居宅介護支援センター

滋賀病院は全国ネットのJCHOグループです。

地域の住民、行政、関係機関と連携し、
安心して暮らせる地域づくりに貢献します。



JCHOグループの特徴

- 全国規模のネットワーク：北海道から九州まで、全国57病院が連携。希望に応じた施設間異動も可能
- 働く場の多様性：病院・訪問看護・介護施設など地域完結型医療を支える様々な職場で経験を積める
- 「教育のJCHO」：本部・地区・病院の3層による充実の教育体制。JCHO特定行為研修も実施
- 働き続けられる環境づくり：年間休日131日以上、JCHOキャリアアドバイザー配置、個々のライフサイクルに合わせた働き方を支援

私たちが大切にしていること



看護部長のメッセージ

看護部は「私や私の家族が受けたい看護を提供したい」という想いのもと、医療と生活の視点をもって「つなぐ看護」を実践しています。自由に意見が言える心理的安全性のある職場で、看護を語り、思いやりの心をもち、生き生きと働ける。そんな環境づくりを大切にしています。JCHOの強みを活かし、新人からベテランまでみんなで学び合いながら、地域や時代のニーズに応えられる看護師へ。私たちと一緒に、看護師としての未来を描いていきませんか。

看護部長

看護をつなぐ



はじめの一步を、安心して踏み出せる

個々のペースに寄り添い、基礎から実践へ段階的に学ぶ体制。集合・ローテーション研修で幅を広げ、1年後には自信をもって看護できます。

新人教育

滋賀病院では、新人看護師の卒後臨床研修としてOJTとOff-JTを組み合わせたプログラムを実施。集合研修で基礎技術を習得し、部署内研修で実践力を磨きます。さらに、附属施設を含めた他部署へのローテーション研修を通じて、急性期から在宅療養支援まで幅広い看護を経験。地域包括ケアの実際を学び、視野の広い看護師へと成長可能です。



新人教育年間スケジュール

4月の基礎研修から始まり、段階的にステップアップ。看護師一人ひとりが自律し、主体性のある看護師を育成するための教育体制が充実しています。

(内科病棟配属の1年目看護師の例)

6～8月：外科病棟・手術室・透析室で急性期看護を学ぶ
9～11月：地域包括ケア病棟・訪問看護ステーションで在宅復帰支援を経験
12～3月：老健・健診センター・地域連携室で予防から介護まで幅広く学ぶ



ローテーション研修

配属部署以外での研修を通じて、多様な看護の場を経験可能。所属病棟では学べないことをたくさん吸収したり、経験や知識を深められたり。自身の道が見つかります。

新人インタビュー

他職種と連携しながら、つなぐ看護を実感しています

N.C.さん 5B病棟 | 2024年入職 | 新卒

声をかけ合い、支え合える環境で一步步成長中
インターンシップに参加したとき、スタッフ同士が自然に声をかけ合いながら仕事をしている姿を見て、理想の職場だと感じました。実際に入職してみると、職種を超えて相談しやすい雰囲気があり、キャバオーバーになりそうなきもプリセプターの先輩がすぐに助けてくださいます。他職種の方からリハビリ状況を教えていただいたり、退院に向けて必要なことをお伝えしたりするなかで「つなぐ看護」を実感する毎日ですね。

患者さんから「あなたが挨拶しに来てくれるだけで元気になる」と言ってくれたときは、本当にうれしかったです。先輩からも「一つずつ課題をクリアしているよ」と励ましていただき、優先順位を考えて取り組めるようになってきました。将来は、退院後の生活を見据えた関わりを実践できる看護師になりたいと思っています。

Day Schedule

N.C.さんの1日の流れ

- 8:30 情報収集・申し送り
- 8:50 チームカンファレンス・先輩と予定のすりあわせ
- 9:00 ラウンド・観察・血糖測定・リーダーへ申し送り
- 11:30 休憩
- 12:30 食事介助・下膳・口腔ケア
- 13:30 退院調整カンファレンス
- 14:00 点滴更新・ラウンド・記録
- 15:30 おむつ交換・記録
- 16:00 記録・先輩と振り返り
- 17:15 勤務終了

プリセプター

「一緒に成長できる、温かな指導体制」

M.A. 3Bプリセプター | S.M. 5Bプリセプター

教育担当の先輩看護師(プリセプター)が新人看護師をマンツーマンで支えるプリセプターシップ。滋賀病院では、新人にとってプリセプターが「一番相談しやすい相手」になることを大切に環境を形成しています。プリセプター以外の先輩も新人をしっかり温かく支えますので安心して下さい。困ったときは、お互いに助け合う文化が根付いた滋賀病院。プリセプター自身も学ぶことが多く、共に成長していける関係性が特長です。



看護をつなぐ

キャリアラダー

経験を積んだ先に、 広がるキャリアの道

キャリアラダーに基づき、一人ひとりが自己成長を目指せる体制を整備。新人からスペシャリストまで、学びの連続性を大切にしています。



【キャリアラダー 5段階】

レベル I (目安：2～3年)：看護手順に従い、必要に応じ助言を得て看護を実践する

- 新人看護職員卒業後臨床研修・ローテーション研修
- 看護過程の展開
- 多重課題

レベル II (目安：4～7年)：標準的な看護計画に基づき、自立して看護を実践する

- プリセプター研修・実習指導者としての役割
- フィジカルアセスメント
- 包括ケアシステム

レベル III (目安：5～8年)：ケアの受け手に合う、個別的な看護を実践する

- チームリーダー
- リーダーシップ研修・ファシリテーション
- 包括ケアシステム

レベル IV (目安：6～10年)：幅広い視野で予測的判断をもち、看護を実践する

- アンダーマネジメント・看護研究
- アドバンス・ケア・プランニング (ACP)
- キャリア支援研修

レベル V (目安：10年～)：患者および家族に最適な手段を選択し、QOLを高める看護を実践する

- 多職種連携 (IPW) 研修①
- 実習指導者講習会
- JCHO研修 (中堅研修、在宅療養支援、認知症ケア etc)

キャリア支援

キャリアラダーⅡ・Ⅲの中堅期は、看護師として最も成長する大切な時期。プリセプターやチームリーダーとして後輩を育てながら、自身の専門性も深めていきます。滋賀病院では、一人ひとりの「こうなりたい」という想いを大切に、認定看護師や特定行為研修などのキャリアアップを支援。院外研修の受講費用補助、勤務調整など、学びたいと思ったときに挑戦できる環境を整えています。



スペシャリスト

専門性を極め、 看護の未来を拓く

高度な知識と技術を身につけ、患者さん・ご家族に向き合うケアのスペシャリスト。滋賀病院は、学びたい意欲を全力で支援します。

Interview

W.A.さん 特定行為研修修了看護師

育児休暇後も働き続ける中で、知識や技術をさらに深めたいと研修を受講。放送大学のeラーニングで学習でき、区分実習は自施設で時間内に実施できるため、家庭と仕事を両立しながら資格を修得しました。研修で学んだ知識を日々のケアに結びつけ、NSTラウンドなど多職種活動にも参加。チーム医療での活躍の場が広がっています。

【特定行為研修】

高度な専門知識・技術を習得し、チーム医療の推進に貢献できる看護師を育成する研修制度。手順書による特定の医療行為を実施できるようになり、より質の高い医療提供が可能となります。

特定行為研修修了看護師

〈特定看護師とは?〉

特定行為研修を修了し、医師の判断を待たずに迅速な対応ができる看護師。患者さんの状態を見極め、タイムリーな医療処置で安全・安心を支えます。

JCHOの 学びやすい環境

通常50万円以上の研修費用が約9万円に。
JCHOネットワークで経済的負担を軽減し、学びを強力サポート。

専門看護師

〈専門看護師とは?〉

大学院修士課程を修了し、特定の専門分野で高度な看護を提供する看護師。患者さんご家族を総合的にケアし、実践・相談・調整など6つの役割で看護の質を向上させます。

認定看護師

〈認定看護師とは?〉

特定の看護分野で熟練した技術と知識をもつ看護師。現場での実践・指導・相談を通じて質の高い看護を提供し、患者さんに最も近い存在として寄り添います。



Interview

Y.M.さん 慢性疾患看護専門看護師

糖尿病資質向上研修で、患者さんを点でしか捉えていなかったことに気づき、理論を用いた看護を目指しました。糖尿病看護認定看護師として専門外来や療養指導を行う中で、さらに広い視野での看護を行いたいと感じ、研究休職制度を利用して慢性疾患看護専門看護師に。多職種と協働し、患者さんご家族の生活を支援します。

Interview

U.M.さん 心不全看護認定看護師

患者さんの生活状況や考えに沿った支援には、知識が必要だと感じました。心不全終末期の患者さんと関わる中で、苦痛の緩和と思いや願いを尊重するために学びたいと思ったことがきっかけ。フィジカルアセスメントや病態を学んだことで患者さんの変化に気づけるようになりました。各職種をつなぐことが自身の役割ですね。



地域をつなぐ

入院前から退院後まで、切れ目のない看護で支える

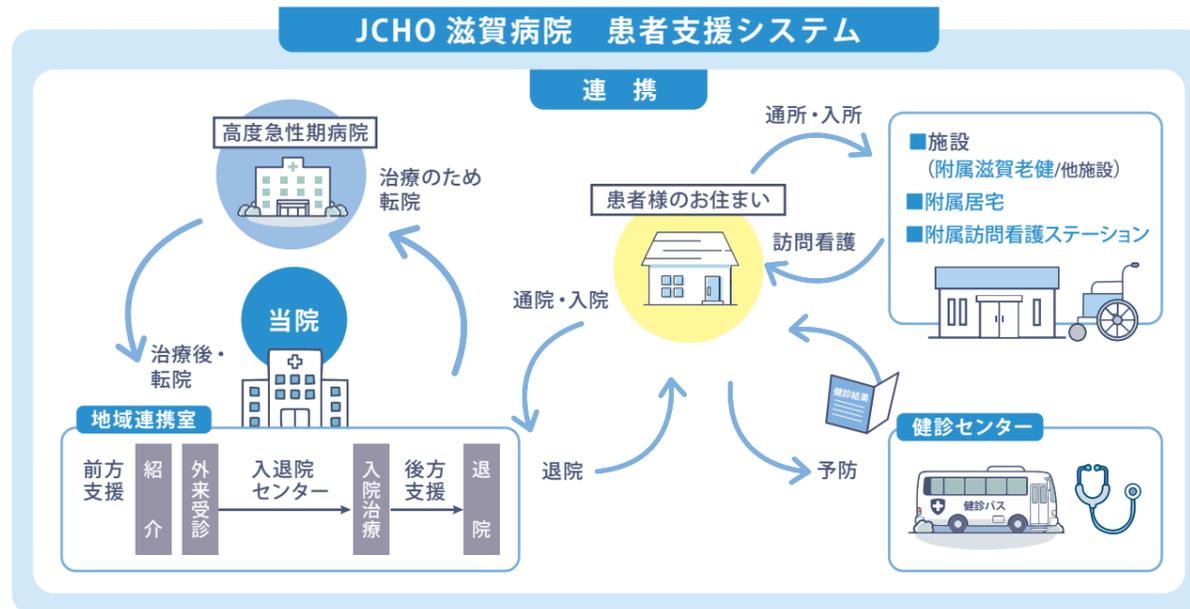
入院前の準備から退院後の生活まで、一貫した支援を。
患者さんが住み慣れた地域で、その人らしく暮らし続けられるように。



Patient Flow Management (PFM)

PFMとは、患者さんの入院決定から退院後までの流れを多職種で管理・支援する体制

地域連携室が司令塔となり、前方支援・入退院センター・後方支援の3つの機能を担います。外来受診時から情報収集を開始し、入院前にはスクリーニング評価や療養指導を実施。入院中は退院に向けたカンファレンスを重ね、退院後は訪問看護や介護サービスへ確実につなぐ。切れ目のない支援で、患者さんの安心を守り続けます。



1 退院前カンファレンス

多職種が集まり、退院後の生活を共に考える

退院が近づくと、医師・看護師・リハビリスタッフ・薬剤師・管理栄養士・社会福祉士、そしてケアマネージャーが一堂に会して打ち合わせ。患者さんの状態、自宅環境、介護力、必要なサービス。様々な視点から検討を重ね、一人ひとりに最適な退院プランを作成します。介護連携指導や共同指導により、在宅チームへの申し送りも万全に。退院は新たなスタートと考え、チーム一丸となって支援します。



2 訪問看護ステーション

住み慣れた自宅で、その人らしい暮らしを支える

「タンポポのような笑顔」をモットーに、看護師が自宅を訪問。医師やヘルパーと連携しながら、医療処置や療養指導、生活支援を提供します。退院後訪問では病棟看護師も同行し、入院中の様子を在宅チームへ引き継ぎ。地域で暮らす人々に寄り添っていきます。



3 滋賀病院附属介護老人保健施設

在宅復帰を目指す、医療と介護の架け橋

急性期治療を終えた後、すぐに自宅へ戻るのが難しい方のために。リハビリを継続しながら、在宅復帰への準備を整えます。看護師・リハビリスタッフ・栄養士が連携し、体調管理から血糖コントロール、スタマ管理まで幅広く対応。その人らしい生活を取り戻します。



4 地域イベント

地域とつながり、健康を支える活動

「じん教室」「おおつ健康フェスティバル」など、地域住民向けの健康教室や相談会を定期開催。糖尿病教室やフットケア外来では、専門看護師が予防から治療まで幅広くサポート。地域包括ケア病棟では院内デイサービスを実施。地域の皆さまとの絆を大切に、健康で暮らせる街づくりに貢献します。



5 健康管理センター

病気の予防から早期発見まで、健康をトータルサポート

人間ドックや各種健康診断により、病気を未然に防止。異常が見つければ専門外来へスムーズに連携し、早期治療へとつなげます。保健指導では生活習慣の改善をアドバイス。健診バスで事業所や地域へも出向き、より多くの方々の健康を支える、地域医療の出発点です。

人を
つなぐ

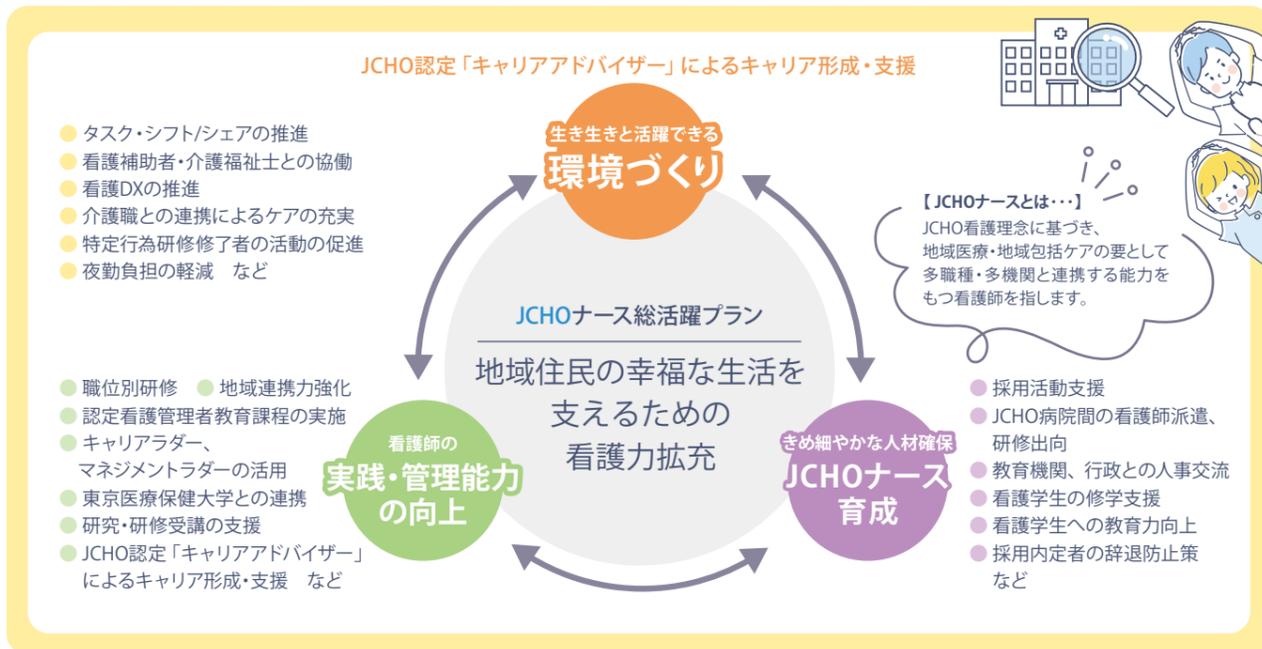
キャリアも生活も、 安心して続けられる

世代や背景を超えて看護師一人ひとりが輝ける場所。
仕事も人生も大切にしながら、共に成長し続ける環境がここにあります。



JCHOナース1.3万人総活躍プラン

JCHOナース総活躍プランは、全国1.3万人の看護師が自分らしく成長できる仕組みです。「主体的に働く力」では患者さんのニーズを捉え、生活を支える看護を実践します。「チームで働く力」は多職種連携を通じて学び続ける姿勢の育成。「前に踏み出す力」で実践力を高め、地域医療の担い手として活躍できます。教育のJCHOとして、キャリアアドバイザーによる相談体制も充実し、一人ひとりの成長を継続的にサポート。



看護師を 目指す方へ

先輩 インタビュー



多職種と連携し、
患者さんの前向きな
変化を支える喜び

O.Y.さん | 4A 地域包括ケア病棟

多職種と連携しながら、個別性のある看護を大切にすることがモットー。患者さんが前向きになれるように小さな変化に気づき、できることを伝えています。やりがいを感じるのは、退院指導を行ったご家族が自宅で自信をもって支援されていると聞いたとき。カンファレンスで意見が飛び交う場面では、全員で患者さんを支えていると実感します。
いろんな現場を経験しながら、自分のやりたい看護を見つけていきますよ。



チーム一丸となって
患者さんを支える
急性期看護の醍醐味

T.M.さん | 3B 急性期病棟

消化器内科・泌尿器科を中心に、急性期から慢性期まで幅広い患者さんの看護を担当しています。内視鏡検査や術後ケアなど、治療の経過に合わせた観察・援助を行う日々。
手術患者さんが多く多忙ですが、チーム一丸となって安全に1日を終わられたときに、やってよかったと実感します。先輩方がとても優しく、困りごとがあってもすぐに相談できるのがうれしい。声をかけ合える明るい雰囲気です。



「そらまめ外来」で
透析予防から
継続看護までをつなぐ

N.A.さん | 腎センター透析室

透析患者さんが安全・安楽に治療を受けられるよう、全身観察と水分・血圧管理を行う日々。透析導入前の「そらまめ外来」も担当し、正しい知識をもって予防活動に力を入れています。
導入が必要になった患者さんから「あなたの顔を見て緊張がほぐれた」と言われたときは、信頼関係と継続看護のつながりを実感しました。専門資格を持つ看護師も多いため、困りごとにもすぐ対応できる安心感。病院全体が温かい職場です。



「一人じゃない」と
思える環境で患者さん
の日々を支える

S.A.さん | 6B 急性期病棟

高齢の患者さんを中心に、術後管理やせん妄予防に取り組んでいます。細やかな観察やケアが欠かせない病棟ですね。「あなたの笑顔を見ると元気になる」「待ってたよ」と声をかけていただく瞬間が、何よりの励み。
滋賀病院は先輩・後輩それぞれが意見を言い合える風通しの良さがあり、チームで退院支援を話し合う場面では一人じゃないと実感します。病院全体で新人教育体制が整っていて、個々のペースで成長できますよ。